ALINCO

特定小電力ハンディトランシーバー
（総務省技術基準適合品）

DJ-PX31

(S:シルバー)
(B:ブラック)

取扱説明書

本書には基本的な操作方法を記載しています。
一部機能については弊社ホームページにある
補足説明書をご覧ください。 RoHS

アルインコのトランシーバーをお買い上げいただきましてありがとうございます。本製品の機能を充分に発揮させ、効果的にご使用いただくため、この取扱説明書をご使用前に最後までお読みください。アフターサービスなどについても記載していますのでこの取扱説明書は大切に保管してください。また、補足シートや正誤表が入っている場合は、取扱説明書と合わせて保管してください。ご使用中の不明な点や不具合が生じたとき、お役に立ちます。本製品は免許・資格不要の特定小電力無線電話として、各種通信にお使いいただけます。

アルインコ株式会社 電子事業部

東京営業所 〒103-0027 東京都中央区日本橋2丁目3番4号 日本橋プラザビル14階 TEL.03-3278-5888
大阪営業所 〒541-0043 大阪市中央区高麗橋4丁目4番9号 淀屋橋ダイビル13階 TEL.06-7636-2361
福岡営業所 〒812-0013 福岡市博多区博多駅東2丁目13番34号 エコービル2階 TEL.092-473-8034

アフターサービスに関するお問い合わせは
お買い上げの販売店または、フリーダイアル 0120-464-007
全国どこからでも無料で、サービス窓口につながります。
受付時間／10:00～17:00月曜～金曜(祝祭日及び12:00～13:00は除きます)
ホームページ http://www.alinco.co.jp/ 「電子事業部」をご覧ください。

PS0830S
FNEI-NM

安全上のご注意

製品を安全にご使用いただくため、「安全上のご注意」をご使用の前にお読みください。

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損失を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

表示	表示の意味
⚠危険	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
⚠警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

図記号	表示の意味
⚠	△記号は、注意（危険・警告含む）を促す内容があることを告げるものです。図の中には具体的な注意内容が描かれています。
⃠	○記号は、行為の禁止であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容が描かれています。
●	●記号は、行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合はACアダプターをコンセントから抜け）が描かれています。

本製品の故障、誤動作、不具合、あるいは停電などの外部要因にて通信などの機会を失ったために生じた損害などの純粋経済損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

⚠警告

■使用環境・条件

この製品を使用できるのは、日本国内のみです。国外では使用できません。
This product is permitted for use in Japan only.

この製品を人命救助などの目的で使用して、万一、故障・誤動作などが原因で人命が失われることがあっても、製造元および販売元はその責任を負うものではありません。

この製品どうし、または他の無線機とともに至近距離で複数台使用しないでください。お互いの影響により故障・誤動作・不具合の原因となります。

この製品を何らかのシステムや電子機器の一部として組み込んで使用した場合、いかなる誤動作・不具合が生じても製造元および販売元はその責任を負うものではありません。

電子機器の近くでは使用しないでください。電波障害により機器の故障・誤動作の原因となります。

自動車などの運転中に使用しないでください。交通事故の原因となります。
運転者が使用するときは車を安全な場所に止めてからご使用ください。携帯型無線機を運転者が走行中に使用すると道路交通法違反で罰せられます。

指定以外のオプションや他社のアクセサリー製品を接続しないでください。故障の原因となります。

ズボンの尻ポケットに入れないでください。トランシーバーに無理な力が加わると壊れる恐れがあります。

内部から漏れた液が皮膚や衣服に付着したときは、皮膚に障害を起こすおそれがありますので、すぐにきれいな水で洗い流してください。

航空機内、空港敷地内、新幹線車両内、中継局周辺では使用しないでください。
運行の安全や無線局の運用、放送の受信に支障をきたしたり、各種機器が故障・誤動作する原因となります。
病院や医療機関では、医療機器などに支障がないか十分に確認の上、管理者の許可のもとご使用ください。
無線機を使用したことによって、いかなる誤動作・不具合が生じても、当社は一切その責任を負いかねますのでご了承ください。

■トランシーバー本体の取り扱いについて

イヤホンを使用する場合、あらかじめ音量を下げてください。聴力障害の原因になることがあります。イヤホンを耳に装着する際、静電気が放電することがありますのでご注意ください。

このトランシーバーは調整済みです。特定小電力トランシーバーをユーザーが改造、変更することは法律で禁止されています。

布や布団で覆ったりしないでください。熱がこもり、ケースが変形したり、火災の原因となります。直射日光を避けて風通しの良い状態でご使用ください。

水をかけたり、水が入ったりしないよう、またぬらさないようにご注意ください。火災・感電・故障の原因となります。

水などでぬれやすい場所（風呂場など）では使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。

近くに小さな金属物や水などの入った容器を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電・故障の原因となります。

■異常時の処置について

以下の場合は、すぐ本体の電源をOFFにして、電池を取り外し、充電器をご使用の場合は、ACアダプターをACコンセントから抜いてください。異常な状態のまま使用すると、火災・感電・故障の原因となります。修理はお買い上げの販売店、または当社サービス窓口にご連絡ください。お客様による修理は、違法ですから、絶対にお止めください。

- ■異常な音がしたり、煙が出たり、変な臭いがするとき
- ■落としたり、ケースを破損したりしたとき
- ■内部に水や異物が入ったとき
- ■ACアダプターのコードが傷んだとき（芯線の露出や断線など）

雷が鳴り出したら安全のため本体の電源をOFFにし、充電器をご使用の場合はACアダプターをACコンセントから抜いて、ご使用をお控えください。

■充電器の取り扱いについて

指定以外の電圧で使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。

充電器のACプラグのコードをタコ足配線しないでください。加熱・発火の原因となります。

ぬれた手で充電器のACアダプターに触れたり、抜き差ししないでください。感電の原因となります。

充電器のACアダプターを、ACコンセントに確実に差し込んでください。ACアダプターの刃に金具などが触れると、火災・感電・故障の原因となります。

充電器のACアダプターの刃に、ほこりが付着したまま使用しないでください。ショートや加熱により火災・感電・故障の原因となります。

⚠注意

■使用環境・条件

テレビやラジオの近くで使用しないでください。電波障害を与えたり、受けたりすることがあります。

湿度の高い場所、ほこりの多い場所、風通しの悪い場所には置かないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。

ぐらついた台の上や傾いた所、振動の多い場所には置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

直射日光があたる場所や車のヒーターの吹き出し口など、異常に温度が高くなる場所には置かないでください。内部の温度が上がり、ケースや部品が変形・変色したり、火災の原因となることがあります。

調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所には置かないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。

■トランシーバー本体の取り扱いについて

アンテナを誤って目などにささないようにしてください。

イヤホン／マイクロホン端子にはオプションのイヤホン／マイクロホン以外は接続しないでください。故障の原因となることがあります。

長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず本体の電源をOFFにして、電池を取り外し、充電器をご使用の場合はACアダプターをACコンセントから抜いてください。

衝撃や水分、異物の混入などによる故障の場合は、保証対象外になります。

■充電器の取り扱いについて

充電器のACアダプターを抜くときは、コードを引っ張らないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。必ずACアダプターを持って抜いてください。

充電器のACアダプターを熱器具に近づけないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります

■保守・点検

お手入れの際は、安全のため必ず本体の電源をOFFにして、電池を取り外し、充電器をご使用の場合は、ACアダプターをACコンセントから抜いてください。

本体や充電器のケースは、開けないでください。けが・感電・故障の原因となります。内部の点検・修理は、お買い上げの販売店または当社サービスセンターにご依頼ください。

汚れた場合は柔らかいきれいな布で乾拭きしてください。
ベンジン、シンナー、アルコール、洗剤などを使うと外装や文字が変質する恐れがあります。
洗浄剤などを直接無線機に吹き付けないでください。
機器内部に浸透し故障の原因となります。

製造番号ラベルをはがさないでください。
製造番号がわからないと保証サービスをお受け頂くことができません。

イヤホンマイクなどのケーブルは、時々軽く湿らせた布で拭いてください。汗はケーブルを劣化させる原因になります。

使用前のご注意

■ご使用環境
本機は防水構造ではありません。
雨や雪が直接かからないように使用し、濡れた場合はすぐに乾いた布で拭き取ってください。
高温、多湿、直射日光の当たるところ、粉じんの多い場所は避けてお使いください。

■分解しないで
特定小電力トランシーバーの改造、変更は法律で禁止されています。分解したり内部を開けることは絶対にしないでください。

■ご使用禁止場所
本機は総務省技術基準適合品ですが、使用場所によっては思わぬ電波障害を引き起こすことがあります。次のような場所では使用しないでください。
（航空機内、空港敷地内、新幹線車両内、中継局周辺）

日本国内でのみ使用できます。
This product is permitted for use in Japan only.

■通信距離
通信できる距離は周囲の状況によって大きく異なります。
- 海上、山頂など条件のよい所 ：500mまたはそれ以上
- 河原など障害物のない平地 ：300m～500m程度
- 見通しのよい道、郊外の住宅地：200m程度
- 市街地のような障害物の多い所：100m程度

屋内、特に縦の階層間の通話はフロアが大きな障害になるため、直線では十数メートルでも通話をすることができないことがあります。このような場合は中継器を設置することで通話エリアを広げることができます。

注意
- 人体を含む障害物やアンテナの向き、歩くなど移動に伴う影響を受けやすく、上記の目安の1/2程度まで通話距離が落ちる場合があります。
- トンネルのような非常に閉鎖的な空間では、UHF電波伝搬の特性により近距離でも通話できないことがあります。

■障害物
本機に採用されている電波は直進性が高いため、間にビルや橋脚、または山や丘陵等の障害物があると通信できる距離が短くなります。

■バッテリーセーブ
電池の消耗を防ぐ機能です。受信待ち受け状態で約5秒間キー操作がないとこの機能が動作します。
信号を受信するかキー操作がおこなわれるとバッテリーセーブは解除されます。
バッテリーセーブ動作時に信号を受信すると、通話の始めが途切れる場合がありますが異常ではありません。

■電池について
市販の単三形充電池はご使用になれません。
電圧、容量、寸法などの仕様が弊社製品と合わないおそれがあり、故障の原因となります。
アルカリ乾電池の使用をお勧めします。マンガン乾電池は容量が小さく使用可能時間が短くなります。

■第三者による傍受
電波を使用している関係上、無線機間の通話は第三者による傍受を完全に阻止することはできません。そのため機密を要する重要な通話に使用することはお勧めできません。

■グループトーク機能について
従来製品とグループトークによる通話をおこなった際、会話が途切れることがあります。
このような場合は弊社ホームページに記載してある「トーンマージン拡張」操作をおこない通話をお試しください。

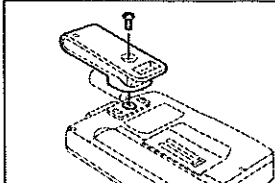
付属品と取り付け方

付属品をご確認ください
□ベルトクリップ（ネジ1本）　□取扱説明書（本書）
□保証書

注意
- 保証書にご購入の日付が記載されていないときは、領収書・レシートを保証書といっしょに保管してください。ご購入日が証明できる書類がないと保証サービスは無効となりますのでご注意ください。
- **本機にはイヤホンマイクなどは付属していません。弊社の純正アクセサリーをお買い求めください。**

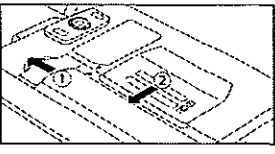
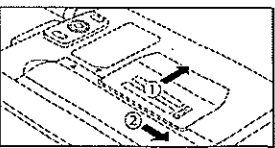
ベルトクリップの取り付け

ベルトクリップを付属のネジで本機の背面に取り付けます。

注意 ネジは必ず専用品をご使用ください。不正規品を使用しての故障につきましては保証の対象外となります。また、定期的に、ネジにゆるみがないか点検してください。ベルトクリップは消耗品です。スペアー部品として販売していますので、お買い求めの際は販売店にご相談ください。
ネジ付きベルトクリップ：EBC-28

電池の入れ方

①電池カバーを取り外す
ロックカバーを矢印の方向①にスライドさせ、電池カバーを下方向②にスライドさせて取り外します。

②電池を装着する。
市販の単三形乾電池または、ニッケル水素充電池（EBP-179）を内側の「+」「−」の表示にしたがって装着します。

②電池カバーを取り付ける。
電池カバーの▶マークと本体の◀マークを合わせて上側①にスライドさせ、ロックカバーを矢印の方向②にスライドさせます。きちんと閉まっていることを確認してください。

注意
- 電池の極性［+/−］を間違えないように注意してください。
- 長期間使用しないときは、乾電池またはニッケル水素充電池をトランシーバー本体から取り出してください。
- アルカリなど高性能乾電池の使用をおすすめします。

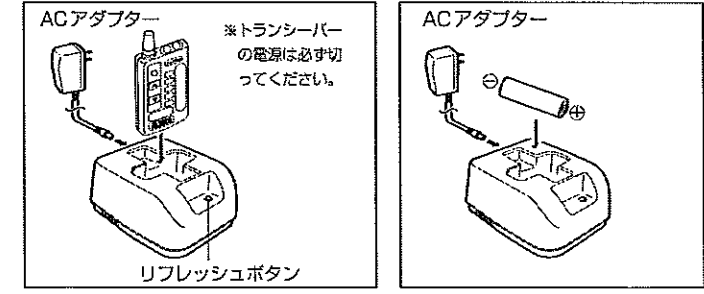
充電池および充電器

充電池、充電器および関連するアクセサリーは下記の通りです。
- ●ニッケル水素充電池 ：EBP-179(1.2V 1900mAh)
- ●連結用ACアダプター：EDC-162
- ●シングル充電器セット：EDC-185A
- ●ツイン連結充電器セット：EDC-186A
- ●ツイン連結充電スタンド：EDC-186R

充電池は出荷時には十分に充電されていません。お買い上げ後に満充電してからご使用ください。充電器の動作温度範囲は、0℃～+40℃です。
空のニッケル水素充電池を満充電するのに要する時間は約6時間です。

注意
- 電圧、容量、寸法などの仕様が弊社製品と合わない可能性があり、故障の原因となりますので市販の充電池は絶対に使用しないでください。
- 弊社の充電器は対応する弊社製品専用です。市販の充電池を充電することはできません。
- 長期間使用しないときは、充電池を本体から取り外してください。
- 充電池を持ち運ぶ場合は、端子がショートしないようにビニール袋に入れるなど注意してください。端子がショートすると、大電流が流れて火傷や火災を引き起こす危険性があります。

シングル充電器（EDC-185A）の使用方法

①トランシーバーにニッケル水素充電池（EBP-179）を装着します。
②ACアダプターのプラグを充電器背面のジャックに接続します。
③ACアダプターを家庭用コンセントAC100Vに接続します。
④トランシーバーを充電器のポケットに挿入します。充電が開始すると赤色ランプが点灯します。充電中はトランシーバーの電源を切ってください。
⑤充電が完了すると、緑色ランプが点灯します。

メモ
- トランシーバーから取り外して充電池のみを充電することもできます。
- 本体及び充電器の端子はときどき乾いた布で掃除してください。汚れていると接触不良の原因となります。
- 充電池が異常の場合、赤色ランプが点滅(エラー)します。

注意 ニッケル水素充電池を保存するときは、満充電した状態で高温多湿を避けて保存してください。
ニッケル水素充電池を継ぎ足し充電したり、6ヶ月以上ご使用にならなかったときは、一時的に性能が低下し使用時間が短くなる場合があります。（メモリー効果）
その場合は、下記の方法でニッケル水素充電池のリフレッシュをおこなってください。

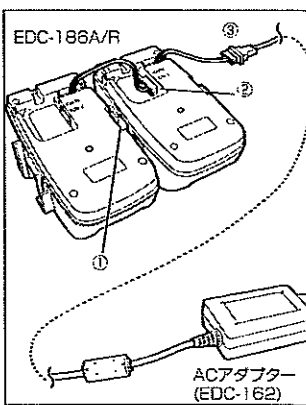
①トランシーバーにニッケル水素充電池を装着し、充電器のポケットに挿入します。（またはニッケル水素充電池単体を充電器に挿入します。）
②充電器のリフレッシュボタンを押すと、緑色ランプが点滅して放電を開始します。
③放電が完了すると、自動的に充電を開始します。
④リフレッシュが完了すると、緑色ランプが点灯します。
⑤上記の要領で、充放電を3回程度繰り返します。

リフレッシュをおこなっても、ニッケル水素充電池の使用時間が著しく短い場合は、寿命が尽きたものと思われます。新しいものにお取り替えください。

ツイン連結充電器（EDC-186A/R）の使用方法

連結充電するときは、必ず連結用ACアダプター（EDC-162）が必要です。

最大で5台連結し、トランシーバーを最大10台同時に充電することができます。

①充電スタンドどうしを連結します。ロックレバーが固定されていることを確認してください。
②充電スタンド裏面のコネクタを接続します。
③ACアダプターのコネクタを、端の充電スタンドのコネクタに接続します。
④ACアダプターを家庭用コンセントAC100Vに接続します。
⑤トランシーバーを充電器のポケットに挿入します。
⑥充電が完了すると、緑色ランプが点灯します。

注意 トランシーバーを前方のポケットに挿入すると赤色ランプが点灯するが、後方のポケットに挿入すると緑色ランプが点灯する、あるいはその逆の動作をすることがあります。充電開始を検知するタイミングにより、このような動作をすることがありますが異常ではありません。

特定小電力の通信制限について

特定小電力トランシーバーの通信に関する制限事項について説明します。

3分制限（3分以上は連続で送信できません）

送信、受信合わせて3分以内です。
10秒前に警告音が鳴ります。通信時間が合計3分になると自動的に送信は停止します。

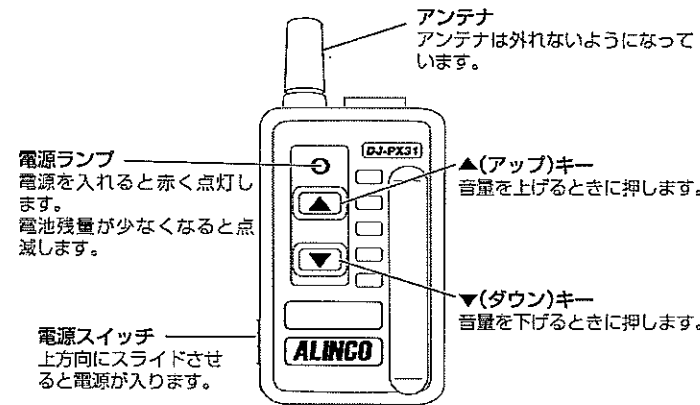
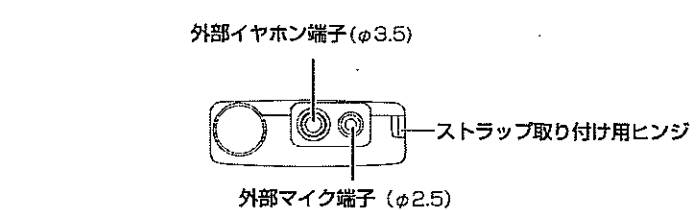
注意 3分の通信時間制限により、自動的に通信が停止した後は、約2秒たたないと次の送信はできません。

キャリアセンス（受信中は送信できません）

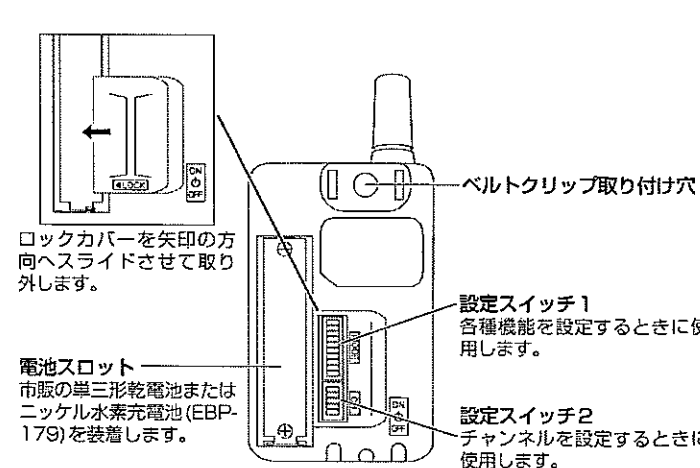
一定の強さ以上の信号を受信しているときは[PTT]キーを押しても送信できません。受信中に[PTT]キーを押すとアラーム音が鳴り、送信できないことをお知らせします。

注意 ビープをOFFにしているとき、アラーム音は鳴りません。

各部の名前とはたらき

前面部

上面部

メモ イヤホン断線検知機能
電源起動時にイヤホンが断線していないか自動で検知をおこないます。もし断線していれば、ランプが赤色と緑色に交互点滅して異常であることをお知らせします。

注意 イヤホンマイクのケーブルは引っかからないように余分な長さは束ねてください。

背面部

注意 ベルトクリップを使用する際、かがんだり座ったりした時にアンテナやプラグ部に無理な力が加わらない位置にトランシーバーを装着してください。

設定スイッチ

	項目	初期値	設定スイッチ1
1	グループ(トーン)設定　OFF、1~7	OFF	MODE ①~⑩
2			
3			
4	VOX(音声検出自動送信)	OFF	
5	ビープ音(キー操作音、各種アラーム音)	ON	
6	コンパンダー(バックノイズ低減)	OFF	
7	エンドビー(送信終了音)	OFF	
8	コールバック(音声モニター)	OFF	
9	BS(バッテリーセーブ)	ON	
10	電池選択(アルカリ乾電池/ニッケル水素充電池)	アルカリ乾電池	

	項目	初期値	設定スイッチ2
1	チャンネル設定	L01	CH ①~⑥
2			
3			
4			
5			
6	交互通話/中継通信設定	交互通話	

注意 起動中に設定スイッチを変更したときは電源を入れ直してください。

メモ 各種機能についての詳しい内容は、弊社ホームページをご覧ください。
http://www.alinco.co.jp/ →「電子事業部」→「ダウンロード」

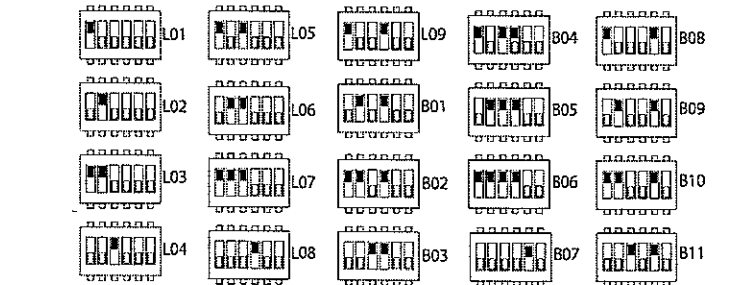
基本操作

本機の基本となる操作方法を説明します。

交互通話

■交互通話用チャンネルの設定（設定スイッチ2）

レジャー、ビジネスの両方の20チャンネルを搭載しています。

注意 本機は携帯性重視のため、マイクとスピーカーを搭載していません。
外部イヤホンマイクまたはスピーカーマイクをご使用ください。

メモ ・スイッチの切り替えにはペン先のような先端の丸いものをお使いください。ナイフのような鋭利なものでは、スイッチを破損し、故障の原因となりますのでご注意ください。
・無効な組み合わせ(設定)の場合は、「L01」となります。

■電源を入れる

電源スイッチを矢印の方向にスライドさせます。
→電源ランプが赤く点灯します。

■音量を調整する

[▲/▼]キーを押す。
キーを押すと、「ピッ」という音が聞こえますので適切な音量に調整してください。
音量調整は0~30の31段階で、初期状態は「10」に設定されています。

メモ キーを押し続けると連続して音量が切り替わります。
[▲/▼]キーを同時に押すと「ザー」というノイズが聞こえ音量の目安となります。適切な音量に調整してください。

注意 音量を大きくし過ぎると聴力障害の原因になる恐れがありますのでご注意ください。

■送信する

信号を受信していないことを確認してから、外部マイクの[PTT]キーを押してください。
[PTT]キーを押しながら、マイクに向かって話します。

注意 ・一定の強さ以上の信号を受信しているときは、警告音「プププ」が鳴り送信できません。(キャリアセンス)
・ビープ音をOFFにしているとき、警告音が鳴りません。

[PTT]キー離すと、受信待ち受け状態になります。

■受信する

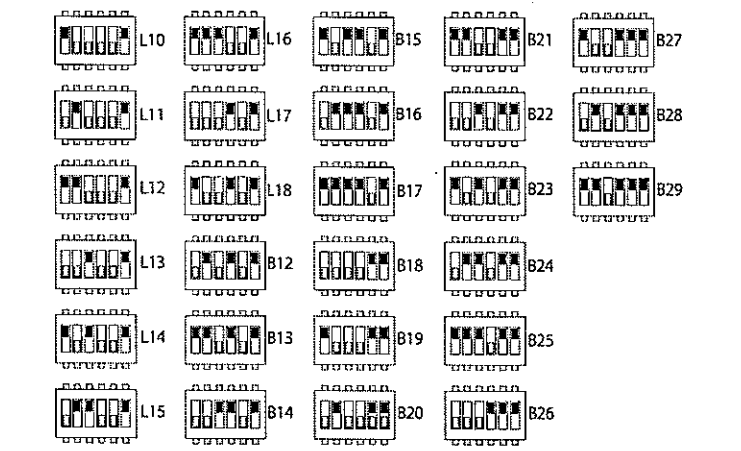
電波を受信するとイヤホンから相手の声が聞こえます。

メモ 本機にはテールノイズキャンセラー機能が搭載されており受信終了時の「ザッ」というノイズが低減されています。
（テールノイズキャンセラー機能を搭載した機器間の通話においてのみ有効）

中継通信

直接の通信では電波の届かない場所にいる相手と中継器を介して通話することができます。別途弊社製の中継器が必要です。

■中継通信用チャンネルの設定（設定スイッチ2）

レジャー、ビジネスの両方の27チャンネルを搭載しています。

■送信する

[PTT]キーを押し続けます。
→直後に「ピピ」という音が鳴ります。
[PTT]キーを押しながらマイクに向かって話します。

メモ お使いになる中継器の設定をご確認ください。
中継器にグループトーク機能が設定されている場合は、本機にもグループトーク機能を設定してください。

注意 中継チャネルでは、子機同どうしの直接通話はできません。
それぞれの機器が至近距離にあると誤動作することがあります。
子機―中継器間、子機―子機間は10m以上離してください。

コールトーン機能

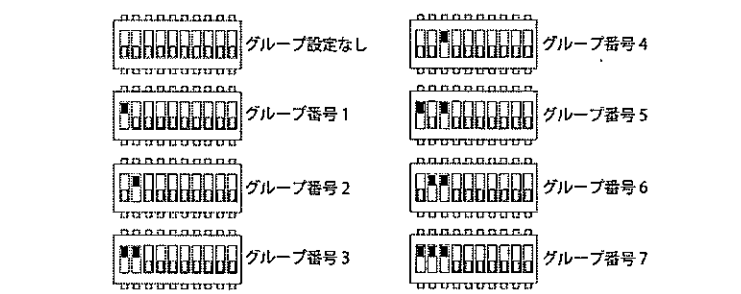
送信中に▲または▼キーを押すと、呼び出し音が鳴り相手を呼び出すことができます。▲と▼キーでは音色が異なります。

メモ ビープ音をOFFにしているとき、呼び出し音は鳴りません。

グループトーク機能（設定スイッチ1）

同じグループの人とだけ通話したいときは、グループトーク機能を設定します。

■グループ番号の設定

グループ番号は、1~7までの7種類です。

メモ ・他の弊社製トランシーバーのグループ番号1~7と共通です。
・グループトークはトーンスケルチと呼ばれることがあります。
・グループトーク機能を設定していないトランシーバーは通話音は聞こえますが、グループトーク機能を設定しているグループとは通話できません。

減電池表示

電池の残量が少なくなると、赤色ランプが点滅します。赤色ランプが点滅しましたら、乾電池を交換またはニッケル水素充電池を充電してください。

メモ ・「大きな音が鳴ると電源が切れる」「オンオフを繰り返す」などの症状が出た場合も電池の消耗が考えられるため、新しい電池と交換またはニッケル水素充電池を充電してください。
・電池選択設定を誤っていると正しく減電池表示しないことがありますのでご注意ください。

故障とお考えになる前に

症状	原因	処置
電源が入らない。表示が消える。	電池が消耗している。	新しい電池と交換してください。ニッケル水素充電池を充電してください。
	電池の入れ方が間違っている。	電池を正しく入れ直してください。
音が出ない。受信しない。	音量が低すぎる。	適切な音量に調整してください。
	チャンネルが違う。	同じチャンネルに合わせてください。
	グループ番号が違う。	同じグループ番号に合わせてください。
	相手と距離が離れすぎている。	場所を移動して通信してください。
送信できない。	信号を受信している。	信号がなくなってから送信するか、チャンネルを変更してください。
	3分の通信時間制限を超過している。	[PTT]キーを離し、2秒経過してから送信してください。
充電しない。	充電端子が汚れている。	充電端子の汚れを乾いた布で拭き取ってください。
	ニッケル水素充電池が正しく装着されていない。	ニッケル水素充電池を正しく入れ直してください。
	専用の充電池を使用していない。	専用の充電池を使用してください。

電池が消耗しているとまれに誤動作することがあります。ニッケル水素充電池を充電もしくは新しい電池に交換してください。

生産終了製品に対する保守年限に関して

生産終了製品に関しては下記の一定期間補修用部品を常備しています。

不測の事態により在庫がなくなり、修理ができない場合もありますのでご了承ください。

補修用部品の保有期間は生産終了後5年です。

オプション一覧

EBP-179	ニッケル水素充電池(1.2V　1900mAh)
EDC-185A	シングル充電器セット
EDC-186A	ツイン連結充電器セット
EDC-186R	ツイン連結充電スタンド
EDC-139	ACアダプター（EDC-185A/186A付属品のスペア）
EDC-162	ツイン連結充電器用ACアダプター
EMS-59（※1）	スピーカーマイク
EME-21A	イヤホンマイク（グレー）
EME-21AB	イヤホンマイク（ブラック）
EME-29A	イヤホンマイク（耳かけ型）
EME-30A	イヤホンマイク（ブーム型）
EME-31A	イヤホンマイク(マイクロ)
EME-34A	イヤホンマイク（カナル型）
EME-39A	咽喉イヤホンマイク
EME-46A	ヘッドセット
EME-49A	イヤホンマイク（オープンエア）
EME-51A	イヤホンマイク（耳かけ型）
EME-52A	イヤホンマイク（オープンエア）
EME-53A(※2)	ヘルメット用ヘッドセット
EME-57A	イヤホンマイク（カナル型耳かけ型）
EME-6	ストレートコードイヤホン（オープンエア）
EME-26	カールコードイヤホン（オープンエア）
EME-50	ストレートコードイヤホン（耳かけ型）

(※1) スピーカーマイクはVOX機能とコールバック機能が使用できません。
(※2) バイク用ヘルメットには使用できません。

定格

送受信周波数	レジャーチャンネル	421.8125～421.9125MHz(受信) 422.2000～422.3000MHz 440.2625～440.3625MHz(送信)
	ビジネスチャンネル	421.5750～421.7875MHz(受信) 422.0500～422.1750MHz 440.0250～440.2375MHz(送信)
電波型式	F3E(FM)	
送信出力	10mW	
受信感度	-14dBu (12dB SINAD)	
音声出力	50mW以上(8Ω負荷時)	
通信方式	単信方式、半複信方式	
定格電圧	DC 1.5V	
動作温度範囲	-10℃ ～ +50℃（但し充電は0℃ ～ +40℃）	
寸法	52.8(W)×73.8(H)×14.6(D)mm(突起物除く)	
重量	約64g（単三形乾電池含む）	

・仕様・定格は予告なく変更する場合があります。
・本書の説明用イラストは、実物とは字体や形状が異なったり、一部の表示を省略している場合があります。